

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：6/17～6/21

・ 6/17(月)

香港のデモ行進、習近平の北朝鮮訪問、ホルムズ海峡付近での日本タンカー攻撃事件、イージスアショア、イスラエルが新入植地を「トランプ高原」と命名などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法の観点からは特に問題は見られませんでした。

・ 6/18(火)

災害特集のため、本日の NEWS23 はお休みでした。

・ 6/19(水)

党首討論、アメリカ大統領選挙、改正児童虐待防止法が成立、メルケル首相震え止まらずなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、党首討論については他の放送日とのあわせての判断が必要なものでした。

・ 6/20(木)

習主席が北朝鮮を公式訪問、麻生大臣に問責・不信任決議案、ロシア爆撃機が領空侵犯などについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、麻生大臣に問責・不信任決議案については放送法上問題と考えられる場面が見られました。

・ 6/21(金)

国会論戦、「骨太の方針」閣議決定、長島昭久氏が自民党入りなどについて報じられました。これら例示したトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、放送法上は特に問題は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年6月17日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
<p>検証テーマ：香港のデモ行進、習近平の北朝鮮訪問、ホルムズ海峡付近での日本タンカー攻撃事件 イージスアショア、イスラエルが新入植地を「トランプ高原」と命名</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪吹田市で警察官襲撃 ・東京町田市で交通事故 ・香港のデモ行進 ・習近平の北朝鮮訪問 ・若者の斜視スマホの影響か ・ホルムズ海峡付近での日本タンカー攻撃事件 ・イージスアショア ・イスラエルが新入植地を「トランプ高原」と命名 ・スポーツ報道 ・天気予報 ・【異論反論】 スマホの長時間使用 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港のデモ行進：結論→特に問題なし <p>冒頭で小川キャスターが「こちらをご覧ください、もう隙間なく大通りを埋め尽くす人々の様子ですけれども、こちら、昨日香港で行われたデモ行進なんですね、参加者は主催者発表で過去最大になるおよそ 200 万人に及んだということです。実はこの前の日、香港ではその市民からの激しい反発を受けていた逃亡犯条例、この審議延期をですね、香港の行政トップが、まあ市民側に譲歩する形で決めていたんですけれども、にもかかわらずここまで膨れ上がったこのでも、そして市民の人数、収束の見通しは全く立っていません。」と述べた後に以下に朱記した VTR が取り上げられた。</p> <p>"森岡紀人「こちら、立法会前の大通りなんですけれども、デモ隊に選挙されています、見渡す限り人、人、人という感じです。」</p> <p>ナレ「昨日、行われた香港のデモは過去最大規模に膨れ上がりました、主催者発表で 200 万人が参加、今日、香港から帰国した人たちもデモへの関心を寄せていました。」</p> <p>香港出身の女性「いま日本に済んでいるんですけれども 100 万、200 万人が集まって、そうなんか、みんなやっぱり自分の住んでいる場所を守りたいそういう気持ちを強く感じます。」</p> <p>香港出身女性の日本人の夫「前と比べるとすごく生きづらくなっているんじゃないかなっていうのをすごく感じていて、今後それがもっと強まってくるのはちょっと心配ですね。」"</p>		

"ナレ「香港の現状を訴えるため来日し、先週ニュース 23 のスタジオにも出演した香港民主化運動の象徴的存在の周庭さん、昨日香港に戻り再び抗議活動に参加しています。」

周庭「香港政府がまだ私達の声を聞こえないふりをしていて、撤回ということはまだ言っていない、まだ言っていないくて、香港人もこれから頑張らないと、諦めることができないんですね。」 "

ナレ「デモの発端となったのは香港で拘束した容疑者を中国本土に引き渡すことを可能とする逃亡犯条例です。香港の司法の独立が脅かされる、と市民が声を上げ先週には警官隊がデモ参加者に催涙ガスやゴム弾を発砲し、70人以上がけがをしました、警察による暴力の映像が SNS などで拡散し、人々の怒りを増幅させていきました。」

"ナレ「こうした事態を受け、香港政府は。」

林鄭月娥（香港政府行政長官）「立法会は条例の改正審議をしばらく停止します。」

ナレ「条例案の審議を無期限延期すると発表したのです、デモの沈静化を狙う香港政府が譲歩した形ですが人々の怒りは収まりませんでした。」 "

デモ参加者「逃亡犯条例が完全に撤回されるまではここから離れません。」

"ナレ「人々が求めているのは条例案の撤回と林鄭行政長官の辞任です。」

阿古智子（東京大学大学院准教授：現代中国）「逃亡犯条例の改正案が通ると、自分たちももしかしたらなにか身に怒るかもしれない、ここでしっかり言わなければ自分たちの家である香港が自分たちの家ではなくなってしまおう。」

ナレ「現代中国の研究者、阿古智子さんは今回の抗議活動が広がった背景に多様なグループの SNS を使った活動があったと指摘しています。」

阿古智子「学生団体ももちろん中心になっていますし、政党とか政治団体も組織しているんですけども、様々なグループが自主的に呼びかけているんですね。」

ナレ「今回のデモには明確なリーダーはおらず、SNS 上の様々なアカウントがデモやストライキを呼びかけ、大規模な動きにつながっていったのです。」 "

"ナレ「そうしたグループの一つがこのアカウントです、一体どのような人物が運営しているのでしょうか。グループのリーダーは 17 歳の高校生、李冠賢さんでした。」

李冠賢（でも呼びかけのグループを組織）「同級生と一緒にやっています。私達が運営しているアカウントは 10～11 人で運営しています。」

ナレ「アカウントを解説して 1 ヶ月足らずですがすでにフォロワーが 1 万 1000 人を超えています、友人と手分けをしてデモやストライキを呼びかける投稿を続けています、予想以上の反響の手応えを感じているといいます。」

李冠賢「今回のデモを木に高校生として未来の担い手として、香港のために力になれたことが嬉しいです。」

ナレ「幅広い年齢層に抗議活動が広がったのは香港社会がある、危機感を共有していたからです。」 "

"阿古智子「この改正案が通ると中国の論理でいろんな裁判が行われてしまうかもしれない、今いろんな監視技術とかが発展していますからそういうところで、自分の行動とかがもう逐一チェックされているかもしれない。」

ナレ「香港社会にも浸透しつつある中国政府の監視の目、その暗い影は今回のデモ参加者にも及んでいます。」 "

デモ参加者「マスクを付けるのは人に顔を知られたくないから、後で政府に責任を問われるのが怖いんだ。」

ナレ「また、デモに参加するため、電車にのる際、多くの人は個人情報と紐付けられた IC カードを使わずに券

売機で切符を買ったといいます。当局の監視を逃れるためです、その結果、きっぷは売り切れて買えない事態となりました。」

"デモ参加者「私達は何者かを特定して中国に行った際に逮捕されないかを恐れている。」

ナレ「香港の人々の自由はいつまで守られるのか、中国政府の影を感じながら、香港の人々の抗議活動は続きます。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"小川彩佳「ここから、取材した村瀬さんにも入っていただきますが、前回の 100 万人規模のデモでは村瀬さんも現場にいましたけれどもゴム弾とか催涙ガスが飛び交うようなそうした現場であった、一方でこの週末のデモは人数は倍ほどに膨れ上がりましたがけれども目立った衝突はなかったようですね。」

村瀬健介「そうですね、あの、今回のあのデモを見ていて私はあの前回の衝突の現場とは全く違うものがあったのが気づきました。それがですね警察官の姿なのです、こちらをご覧くださいなのですがこちらは私が現場で取材したときの警察官の姿なんですけれども防具をつけてですね、警棒をもったり盾をもったり更にはガスマスクまでつけてですね、かなり異様な、威圧的な警備の体制だったんですけれども。」

小川彩佳「物々しさが感じられますね。」

村瀬健介「そうですね、ただ、今回の現場にいた警察官はこちら見ていただくように普通の制服姿の警察官しかいなかったですね、おそらくこれ香港当局のですね、あのもう衝突を起こしたくないという意志の表れがこのような対応の違いにつながったのだと思います。」 "

"小川彩佳「うん、状況が大きく変わっている。そして香港政府は星さん、問題となっている条例について審議延期を発表したりですとか、あと謝罪も行うなど、ずいぶんなんか変わってきてますね。」

星浩「はい、まあ延期の判断はもちろん中国政府と協議した上なんでしょう、なぜかと言うと中国も月末の大阪 G20 に向けてこのままですとね、G20 が中国批判一色になってしまうということを心配したんでしょう、ところがですね、その先送りっていう妥協案だけでは学生の人たちは納得しないというのは、まあある意味では中国の誤算だったと思いますね。ここはしばらく様子を見てもしかすると G20 のあとに今度はまた強硬策に出てくるという可能性がまだあるかもしれませんね。」

小川彩佳「今週スタジオに起こしくださった大学生の周庭さんもね、香港が香港ではなくなるという危機感を覚えていて。」

星浩「そうですね、そういう点は非常に心配される人だと思いますね。」

小川彩佳「ええ、この撤回という答えが得られるまでは折れないという市民たちの思いを感じるようではありますが、その香港情勢のカギを握る習近平国家主席ですが、習主席の動向について大きなニュースが入ってきました、中国共産党は今月 20 日から北朝鮮を公式訪問すると発表しました。」 "

このトピックに当てられた時間は 589 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ 習近平の北朝鮮訪問：結論→特に問題なし

習近平国家主席について以下に朱記したやり取りが取り上げられた。

小川彩佳「中国共産党は日本時間の午後 8 時、国営の中央テレビなどを通じて習主席が今月 20 日から 21 日まで北朝鮮を公式訪問し、金正恩党委員長と会談すると発表しました、習主席が国家主席に就任してからはじめての

ことで中国の国家主席としては14年ぶりの包丁となります、また、習主席と金党委員長の首脳会談は五回目目で小とそ2月米朝首脳会談が物別れに終わって以来初めてとなるんですけれども、星さん、習主席の訪朝が突如発表されましたね。」

星浩「実はね、先週、日本外務省のチャイナウォッチャーの人と話していたときに、習近平さんの平壤訪問があるかもしれないという話があったんですね。この狙いはおそらく2つあると思うんですよ、一つは、あの最近北朝鮮側がアメリカに手紙を送ったりしてですね、関係修復の動きが出ているんですね、それに対して北朝鮮がどんどん独り歩きすることに対する中国側が釘を差すっていうのが一つね。」

小川彩佳「警戒感。」

星浩「もう1つはね、やっぱりG20を控えてですね、北朝鮮と中国の関係は良好だということで、アメリカに対して牽制をしようっていう、つまり北朝鮮は自分、中国のコントロールの中にあるのだから北朝鮮とアメリカとの関係を改善しなかったら、中国とのまゝ貿易摩擦を含めてですねこの対立解消に動きなさいとトランプさんに言っているというサインなんでしょうね。」

小川彩佳「北朝鮮というカードがこちらにあるんだぞということでしょうか。」

星浩「そういうことですね、北朝鮮を巡る米中のせめぎあいということが始まっているということだと思いますね。」

このトピックについて当てられた時間は234秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・ホルムズ海峡付近での日本タンカー攻撃事件：結論→特に問題なし

日本のコクカ産業が運行するコクカ・カレジャスと見られるタンカーの最新の姿をJNNが16日UAEアラブ首長国連邦のカルバ沖で捉えたこと、周りには軍や沿岸警備隊のものとみられる複数の小型艇があり厳戒態勢下にあることが伺えることが報じられた。このトピックについて当てられた時間は60秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・イージスアショア：結論→特に問題なし

ミサイル迎撃システム、イージスアショアの配備をめぐる調査ミスが見つかった問題で岩屋防衛大臣は配備予定地の秋田県を訪問し知事らに謝罪したこと、岩屋毅防衛相の「皆様からの信頼を回復できるように、もう一度原点に立ち返って真摯に取り組んでまいります」という発言が取り上げられていた。また一方で、秋田県の佐竹知事は「残念というより悲しい、住民の怒り、不信感もありマイナスのスタートと受け止めてほしい」と厳重に抗議したとのことが伝えられた。

このトピックに当てられた時間は42秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・イスラエルが新入植地を「トランプ高原」と命名：結論→特に問題なし

イスラエルのネタニヤフ首相が16日にシリアのゴラン高原の新しい入植地をトランプン高原と名付けると発表したこと、これによりゴラン高原を巡るシリアやイランなどとの緊張関係がより高まる恐れがあるとのことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は33秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨 特になし
検証者所感

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年6月19日
出演者：星浩、小川彩佳、山本恵里伽、村瀬健介、石井大裕		
検証テーマ：党首討論、アメリカ大統領選挙、改正児童虐待防止法が成立、メルケル首相震え止まらず		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実刑確定の男が逃走 ・新潟地震 ・党首討論 ・東京町田市での交通事故から命を守った水筒 ・アメリカ大統領選挙 ・小田急線が踏切で立往生の車と衝突 ・改正児童虐待防止法が成立 ・メルケル首相震え止まらず ・スポーツ報道 ・【異論反論】増加するカスハラ ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・党首討論：結論→他の放送日との比較が必要 <p>党首討論について以下に朱記したようにVTRが取り上げられていた。</p> <p>テロップ「トップが論戦」</p> <p>ナレ「およそ一年ぶりとなった党首討論、老後に2000万円が必要と指摘した金融庁の報告書が討論の中心となりました。」</p> <p>"玉木雄一郎（国民民主党代表）「総理は一部報道によると金融庁の報告書、金融庁大馬鹿者と激怒したということが報じられていますが、事実でしょうか。」</p> <p>安倍晋三「あの、私はめったに激怒しない人間としてですね自由民主党では、だいたい高理解されているわけでありまして、温和に円満に生きているつもりであります、大切なことは、大切なことはですね、国民に誤解を与えない、そういう資料を作ることではないか、とこう考えております。」"</p> <p>"ナレ「報告書の問題点を指摘した安倍総理に対し国民民主党の玉木代表は麻生大臣が受け取りを拒否した報告書を渡そうとします。」</p> <p>玉木雄一郎「あの、お忙しいと思うので、全部付箋を付けてきましたからこれ、ぜひ読んでいただきたい、まっとうなことが書かれてあります。」</p> <p>安倍総理「私自身は読んでおりますから、わざわざ付箋を入れていただきましたがこれも結構です。」</p> <p>ナレ「安倍総理は受け取りを拒否、続いて玉木氏は100年安心と歌われた年金制度についてこう指摘します。」</p> <p>玉木雄一郎「なんと、100年どころか36年後に積立金が枯渇するということになっている、今、総理がやるべきなのはそういった真実を、仮にそれが不都合であっても真実をしっかりと出して、国民にどういう年金の姿になっ</p>		

ているのか、将来、それぞれどうなるのかということ を正直に語る政治を実現することではないですか、総理。」

"

"ナレ「立憲民主党の枝野代表は。」

枝野幸男代表（立憲民主党代表）「今回の報告書が出たあとも安心ばかりは強調されて、その多くの有権者の皆さんが抱えている不安と向き合っていない、ということに対して多くのお客さんが怒っておられるのじゃないかと思 います。」

安倍総理「大切なことはなにか、といえば、年金生活者の生活実態は多様でありまして、その多様な実態に対してしっかりと対応していくものとなっているのかどうか、ということでもあります。」 "

"ナレ「最後に質問に立ったのは日本維新の会の片山共同代表、直球勝負で挑みます。」

片山虎之助（にほんいしんのかいきょうどうだいひょう）「解散をこの国会ではされるのですか、されないのですか。」

安倍総理「あの、大変重要な質問でございますが、解散という言葉は私の頭の片隅にはございません。」

ナレ「片山氏は更に問います。」

片山虎之助「それでは野党から内閣不信任案や総理の問責決議案が出たときはどうされますか。」

安倍総理「あの片隅にはありませんし、片隅にもありませんと言ったほうがいいのかもかもしれませんが、重ねて申し上げますと、頭の片隅にもないということでございます。」 "

VTR を受けてスタジオでは以下に朱記したようなやり取りが繰り返され続けた。

"小川彩佳「片隅にもない、と、ここについても後ほど、星さんにお伺いしますけれども今回の党首討論、大半はやはり年金問題となりましたね。」

星浩「そうですね、年金と解散問題、年金の問題についてはこんな感じの整理ができるのかなと思います。あの報告書、2000 万円必要だという報告書を受け取らないのはいいのか悪いのかということですね、これは議論されて いました。それから年金は果たして 100 年安心なのか、先程 V にもありましたけれども、その玉木さんは試算では 36 年後に積立金が枯渇しますよということなんです、安倍総理の方はスライド、マクロ経済スライドでそれはしのげるという反論でしたね。」

小川彩佳「制度としても 100 年安心なのかということが問われていましたね。今回」

星浩「もう 1 つは今の年金の額で大丈夫なのかどうかということ、これは枝野さんが主に聞いたんですけども、その 20 万ということですけどもこれは厚生年金で比較的恵まれた人じゃないのかということ、で低年金の人もいますよということですし、医療とか介護の心配もありますよということなんです、これに対する安倍総理の反論は、最低賃金を上げますよということかですね、そういう反論でちょっとこう噛み合わなかったかなという感じはありましたね。」

小川彩佳「反論になっていたのかどうかということもございましたけれども、やはり 1 時間の党首討論短すぎる など、この先の議論を我々聞きたいわけで。」

星浩「本当はね、年金の問題複雑ですからこの党首討論とか予算委員会で時間を取って必要があると思いますが、ある意味でこれ、参議院選挙の最大の争点となってきますので、これからテレビ討論もありますので、まあ今回はその入口というふうに捉えればいいかなと言う気もしますね。」

小川彩佳「どんな言葉でどんなビジョンを逃げずにどう語るかっていうのをしっかり有権者は見ていると。」

星浩「言い方、説明の仕方ですね。」

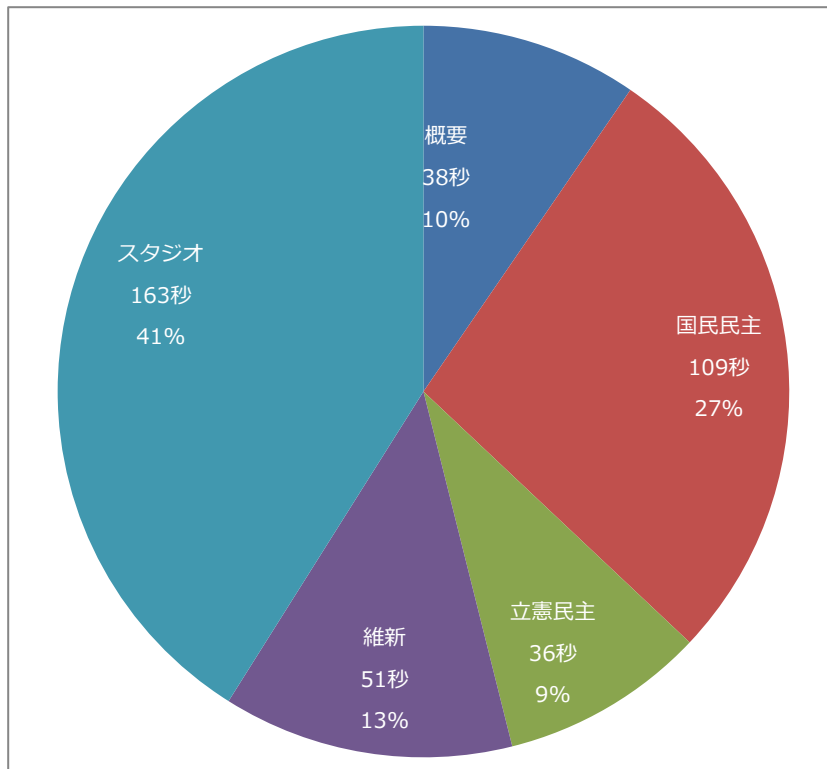
小川彩佳「姿勢が問われますよね。」 "

"小川彩佳「それからもう 1 つ、解散についても安倍総理は頭の片隅にもないという表現がありましたけれども、これはない、と。」

星浩「まあ事実状況を持ってですね政局は参議院選挙に向けて動き出すということだと思います、一つははっきりしているのは安倍総理は北方領土とか憲法改正をテーマに解散をしたかったということは間違いありません、ところがそういう大義を見いだせないまま、国会を終えるということになって、まあ公明党が反対したということが大きかったんだとお見おます。参議院選挙の結果次第ですけれども、これから安倍政権が解散権を、解散のタイミングを失したまま、ずっと力を失っていくのか、それとも解散権を梃子に盛り返していくのか、ある意味ではこの参議院選挙がそれを占う非常に大きなポイントになると思いますね。」

小川彩佳「今日がその節目だったということは間違いなさそうですね。」 "

このトピックについて当てられた時間は 397 秒で、概要の説明、国民民主党との党首討論、立憲民主党との党首討論、日本維新の会との党首討論、スタジオでのやり取りの場面に大別され、それぞれの時間配分及び比率は以下の通りだった。



党首討論の VTR では国民民主党や立憲民主党、日本維新の会は取り上げられていた一方で、政党要件を満たしている公党である社会民主党や日本共産党の党首討論については取り上げられていなかった。今回の放送日だけの判断は早計であるが、一週間の放送の中で特定の政党との党首討論を全く取り上げないという報道のあり方は放送法第四条一項二号に「政治的に公平であること」に照らして問題であるといえる。

NEWS23 週刊報告 詳細版

・アメリカ大統領選挙：結論→特に問題なし

再選に向けて出馬を正式に宣言したトランプは「キープ、アメリカ、グレート。」掲げ二年余りの成果について強調したこと、トランプ氏の「住人二年半でこれまでのどの大統領よりも多くを成し遂げた。我々の経済を世界中が羨んでいる、おそらくアメリカ史上で最も素晴らしい経済状況だ。」というコメントが取り上げられていたほか、最新の世論調査では民主党の有力候補に5ポイント以上の差をつけられているとのことも伝えられた。このトピックに当てられた時間は89秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・改正児童虐待防止法が成立：結論→特に問題なし

親による体罰禁止が明記された改正児童虐待防止法が今日、参議院の本会議で全会一致で可決・成立したこと、しつけを名目にした子供への虐待事件が相次いでいることを承けた法改正で一部を除き来年4月から施行されること、改正法には児童相談所の体制強化に向けて児童福祉司を増員することや医師や保健師の配置の義務化なども盛り込まれているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は35秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・メルケル首相震え止まらず：結論→特に問題なし

18日に首都ベルリンで行われたウクライナの新大統領を歓迎する式典で突如上半身が震えだしたメルケル首相について、気温が30℃近くまで上がった中水分不足が原因と見られているとのこと、メルケル首相は「あれから水を3杯飲みました。今はとても体調がいいです。」と強調したが以前にも気温が高い日に同じような症状を見せたこともあり健康状態に関心が集まっているとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は45秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

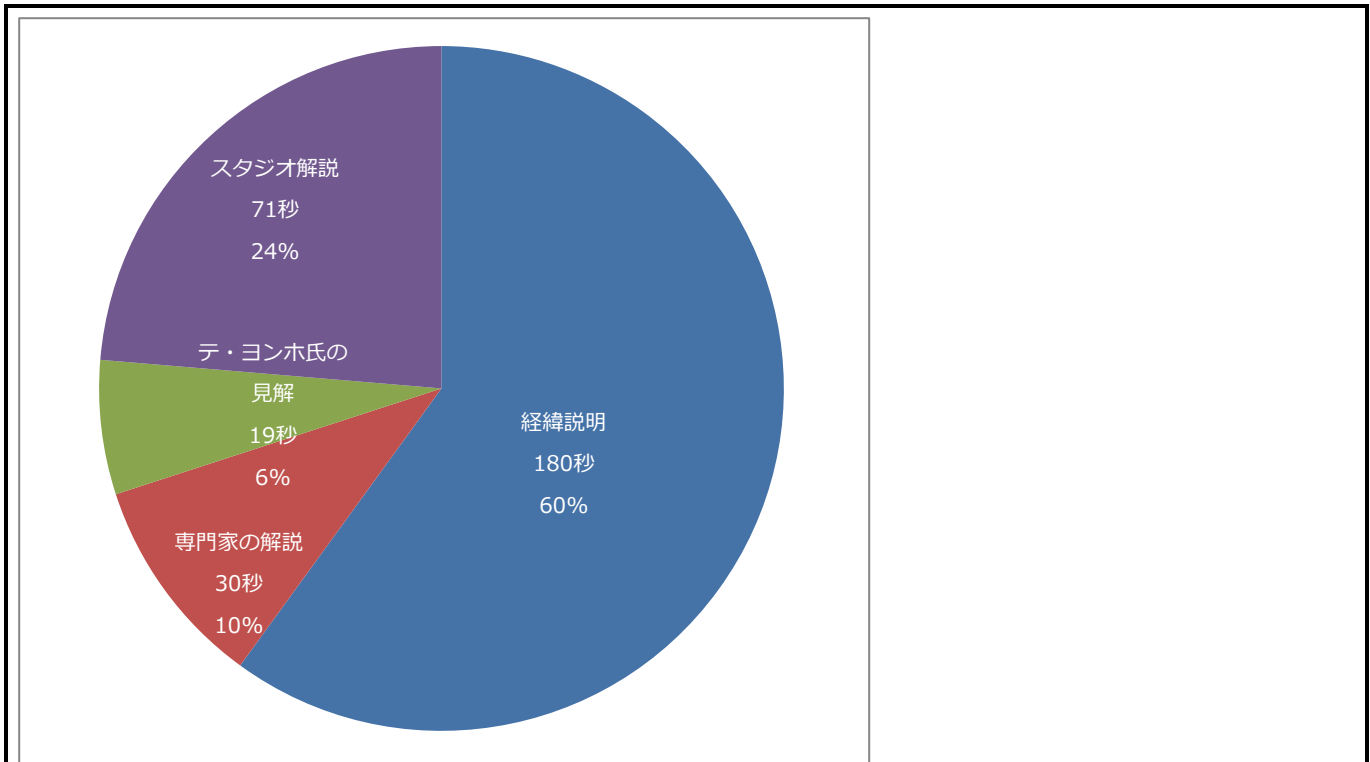
検証者所感

・実刑確定の男が逃走

VTRで元東京地検特捜部の若狭勝氏のコメントが紹介されていた。ここでは若狭勝氏の政治的な経歴には触れられず、「元東京地検特捜部」として紹介されていた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2019年6月20日
出演者：【キャスター】小川彩佳、山本恵里伽、星浩、石井大裕		
検証テーマ：習主席が北朝鮮を公式訪問、麻生大臣に問責・不信任決議案、ロシア爆撃機が領空侵犯		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刃物持ち男が逃走中 ・新潟・山形地震 ・東京五輪チケット抽選結果発表 ・習主席が北朝鮮を公式訪問 ・麻生大臣に問責・不信任決議案 ・「若返り」を実現可能にするかもしれない酵素 ・newstories <ul style="list-style-type: none"> ・福井で工場火災 ・ラグビー選手がコカイン所持で逮捕 ・「元ラガーマン」の刑事がお手柄 ・ロシア爆撃機が領空侵犯 ・認知症行方不明者が過去最多に ・スポーツ報道 ・天気予報 ・【速報】スポーツ報道 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習主席が北朝鮮を公式訪問→結論：放送法第四条の見地から問題なし。 <p>今回は中国の習近平国家主席が北朝鮮を公式訪問したことが伝えられた。会談の場で、習主席は朝鮮半島の非核化について中国が積極的な役割を果たしていくつもりであると述べたことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は300秒で、経緯説明・専門家の解説・テ・ヨンホ氏の見解・スタジオ解説に焦点が当てられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

小川「さあ、次のニュースに参ります。中国の習近平国家主席が北朝鮮を公式訪問しています。さっそく金正恩党委員長との首脳会談が行われたのですが、その中で朝鮮半島の非核化に関して中国が積極的な役割をはたす意欲を示したということです。」

ナレーター「和やかな表情で席に着く北朝鮮の金正恩党委員長。その正恩氏と向き合うのは中国の習近平国家主席。笑みを浮かべています。午後8時ごろ、中国の国営メディアが伝えた中朝首脳会談の様子です。今日午後、北朝鮮の首都平壤に到着した習主席夫妻。金正恩党委員長と妻の李雪主氏が出迎えました。習主席の北朝鮮公式訪問は2013年に国家主席に就任して以来初めてで、中国の最高指導者としては14年ぶりになります。あすまで二日間の予定で滞在する習主席。今回は正恩氏との会談のほか、朝鮮戦争への中国の参戦を記念する『友誼塔』へ公式訪問の予定です。歓迎ムード一色となった平壤市内。沿道は多くの人で埋め尽くされていました。そして行われた首脳会談。中国国営の中央テレビによりますと、習主席は非核化に向けた北朝鮮の努力を評価。国際社会は米朝対話の進展を望んでいるとしたうえで、中国は朝鮮半島の非核化と安定に積極的な役割を果たしていきたいと述べました。2回目の米朝首脳会談が物別れに終わり、こう着状態に陥っている北朝鮮とアメリカ。習主席の公式訪問の狙いについて専門家は。」

富坂聡教授（拓殖大学）「アメリカは北朝鮮の非核化問題ですごく性急にホームランを求めているけど、そうではなく時間がかかるというのが中国の従来の考え方で。アメリカ主導ではない別のやり方を選択していく可能性がある。中国が中心になって、おそらくそれにはロシアも同調すると思うので、そういう形になるのではと。」

ナレーター「一方、北朝鮮側は非核化に関して中国に仲介を求めるのではとの見方もあります。韓国に亡命した北朝鮮の元高官テ・ヨンホ氏は次のように述べました。」

テ・ヨンホ氏「金委員長は自らの新たなアプローチを習主席を通じてアメリカに伝えようとしている。北朝鮮は

来週の G20 サミットで習主席を仲介役にしたいと考えている。」

ナレーター「習主席は来週の G20 首脳会議でアメリカのトランプ大統領と会談する見通しです。中国・北朝鮮・そしてアメリカ今後の動きが注目されそうです。」

小川「首脳会談では北朝鮮の非核化について話し合われたということが中国の国営テレビによって明らかにされましたけれども、この会談、このカードを両国はどのような形でアメリカに突き付けるのでしょうか。」

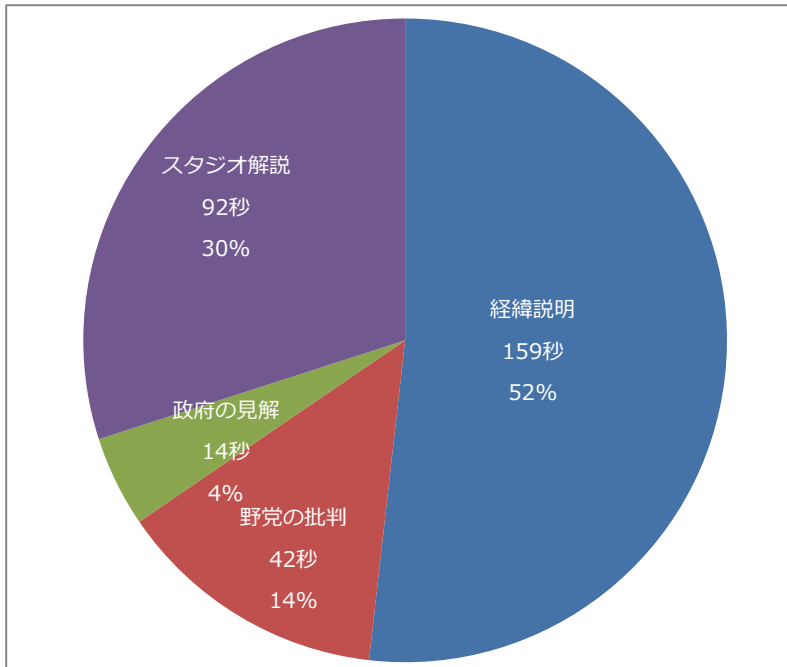
星「この首脳会談で面白いのは二人とも視線の先にはトランプさんがあるということですね。北朝鮮は今比較から話しが進まず、制裁も続いていますのでこれをどうにかしたいということで、これまでは韓国をに頼んでいたんですけども、どうも韓国よりは中国を仲介してトランプさんに話し合いを求めたいということが一つです。

習近平さんの側からすると、貿易問題が、これもなかなか難しくなっておりまして、貿易問題でアメリカから良いカードを引き出すためにも、おれたちは北朝鮮問題できちんと協力しているんだぞという行動を見せるという狙いがありますよね。そういう意味では大阪の G20 首脳会談は、今回米中首脳会談があるんですけども、貿易問題だけではなくて北朝鮮問題というのも急に大きな問題として浮上してきたという状況ですよね。」

今トピックでは放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

- ・麻生大臣に問責・不信任決議案→結論：放送法第四条第一項二号に抵触。

今トピックでは麻生大臣に問責決議案と不信任決議案の両方が提出されたことが伝えられた。また、財務省の報告書から『将来世代の基礎年金給付水準が 2004 年に改正した時の想定よりも、低くなることが見込まれる。』という言葉が削除されていたことも伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は 307 秒で、経緯説明・野党の批判・政府の見解・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

小川「続きまして、終盤を迎えている国会です。野党は今日、麻生大臣に対する問責決議案と不信任決議案を相次いで提出しました。そうした中、今度は財政審議会の意見書の中から年金を巡る文言が削除されていたことが

わかりました。」

ナレーター「カツカレーを手を持つのは、選挙を控えた参議院議員。」

細田博之会長（自民・細田派）「今日は参院選のいわば総決起集会だと思ってカツカレーが出ています。」

ナレーター「すっかり選挙モードです。この人も。」

麻生太郎会長（自民・麻生派）「全員の当選を目指して、皆さんのお力添えを一つに集めていただきます。」

ナレーター「ただ、その選挙では自身の言動が争点になりそうです。」

枝野幸男代表（立憲民主党）「衆参で不信任と問責が両方出たことは過去にはなさそうだと、麻生さんも歴史に名を残せて喜んでいるのではないか。」

ナレーター「こう皮肉った枝野代表。立憲民主党などの野党4党派は、問責決議案を参議院に提出。午後には野党5党派などで不信任決議案を衆議院に提出しました。老後に二千万円必要とした金融庁の報告書を受け取らなかったことなどが理由です。」

辻元清美対委員長（立憲民主党）「もう麻生さんええんちゃう。そろそろ。自分から身を引かれたら。」

森山裕国対委員長（自民党）「極めて遺憾のことかと思います。」

ナレーター「問責決議案と不信任決議案はあす反対多数で否決される見通しですが、麻生大尽の対応には自党内からも疑問の声が。」

伊吹文明元衆院議長（自民党）「年金はパンクすることはありませんということは政府の公式見解なんですよ。参考のためにありがたくいただきますと言っておけばそれでよかった。」

ナレーター「一方年金をめぐるっては新たな事実が明らかになりました。昨日麻生大臣の諮問機関である財政制度等審議会が大臣に渡した意見書。この意見書からある文言が削除されていたのです。当初の原案にはこう書かれていました。『将来世代の基礎年金給付水準が2004年に改正した時の想定よりも、低くなることを見込まれる。』この文言が削除されていたのです。」

菅官房長官「審議の過程の中で変わってくるというのは通常のことのようだ。」

ナレーター「菅官房長官は問題ないとの認識を示しましたが、財務大臣も務めた野田前総理は。」

野田佳彦前首相「伝統ある財政審までそんな付度をするようになったのは、極めて残念だというふうに思います」

小川「金融庁の報告書を政府が受け取らなかったその折も折です。財政運営に関する意見書から文言が削除されるという。これに関して菅官房長官は審議の過程で変わってくるのは通常のことというふうにおっしゃっていましたが、通常のことそうあっていいものなんでしょうか。」

星「この財政審議会の意見書に、例の金融庁の報告書の問題が影響していることは明らかですよ。通常いろんな審議会というのは、国民のいろんな声を聞くために有識者から意見を出してもらっても、それを受けとめて最終決断は政治家がやりますということですから、色んな声があっても当然なんですけれども、どうもこの政権は最近の動きをみるとそういう原則が失われているのかなという気がしますね。」

小川「私たちが聞きたいのは耳当たりのいい言葉ではなくて真実の言葉なんですけれども。」

星「その反対意見があっても大いに結構なんです。最終的には政治家が決断すればいいということなんですけれども。」

小川「そして麻生副総理の不信任案も含めて、この年金問題は選挙に持ち越されるということなんです。」

星「そうですね。麻生さんの不信任案や問責決議案は両方否決されるんでしょうけれども、野党からすると自民

NEWS23 週刊報告 詳細版

党や公明党は麻生さんをかばっているんだという構造を作りたいのでしょうか。来週はもしかすると不信任案が出て、それが否決されるということなんで、26日以降は参院選挙にこの年金の問題を問うということになってくると思います。」

今回の報道での時間配分は政府の見解に比べて野党の批判のほうが3倍以上の割合を占めている。これは政治的公平性を欠いていると判断される。

今回は放送法第四条第一項二号「政治的に公平であること」に抵触する可能性がある。

・ロシア爆撃機が領空侵犯→結論：

今回は、ロシアの爆撃機が日本の領空を2回にわたり侵犯したことが伝えられた。今トピックに充てられた報道時間は23秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年6月21日
出演者：星浩、小川彩佳、山本絵里伽、石井大裕		
検証テーマ：国会論戦、「骨太の方針」閣議決定、長島昭久氏が自民党入り		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神奈川県警が逃走中の刃物男の新たな写真公開 ・ 参院で麻生財務相に対する問責決議、金子参院予算委員長に対する解任決議の採決が行われる ・ 習近平国家主席、北朝鮮訪問 ・ 八村塁選手、日本人初の NBA ドラフト 1 巡目指名 ・ 秋篠宮さま、眞子さまの結婚の見通しについて「私はわかりません」 ・ 自衛隊ヘリが着陸に失敗し大破。ケガ人はゼロ ・ トランプ大統領「イラン攻撃 10 分前に停止」 ・ 来年度の「骨太の方針」を閣議決定 ・ 香港デモ隊、以前のデモで逮捕された活動家の釈放を求めて警察本部を包囲 ・ 5月の全国の百貨店売上、2か月連続で前年度割れ ・ 水産庁、完全養殖のウナギで作ったかば焼きを披露 ・ 交番襲撃で逮捕の男の自宅を捜索。ノート PC 等を押収 ・ 写真家・石川真生さん、創作写真で問いかける沖縄戦 ・ スポーツ報道 ・ 75歳男性、軽自動車で国道を逆走し自損事故 ・ 10歳の女の子が米カリフォルニア州の絶壁の登頂に成功。世界最年少 ・ 長島昭久元防衛副大臣が自民党入りの見通し ・ 都立高校でスマホ持ち込み許可 ・ 天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会論戦：結論→特に問題なし <p>今回の報道は、参議院にて麻生財務相に対する問責決議、金子原二郎参院予算委員長に対する解任決議の採決がそれぞれ行われたことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 422 秒だった。</p> <p>なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。</p> <p>また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>小川キャスター「委員会は、委員の 3 分の 1 以上の要求があれば開かなくてはならないという規則があり、また金子委員長も「それを重く受け止めている」という発言があったにも関わらず委員会が開かれないというのはどういふことでしょうか」</p> <p>星キャスター「はっきりしているのは、金子さんが自分で握りつぶしているわけではないのですね。実際何が起きているかと言えば、安倍総理の意を受けて官房長官なり副長官なりが自民党の方に『今回予算委員会は無理で</p>		

すよ』と伝えるわけですね。金子さんはそれに従っているに過ぎないと」

小川キャスター「予算委員会は活発な議論が期待される場所ですから、いまでいえばイージスアショアの問題や老後 2000 万円問題、さまざまな議論していただきたいことはありますが、それでもかたくなに政権が避け続けるというのはどういうことなのでしょうか」

星キャスター「森友、加計問題で相当の追及を受けましたから、去年の二の舞は嫌だというのが安倍総理の本音でしょう。今年はなんとといっても安倍総理の頭にあるのは夏の参議院選挙を乗り切りたいと、不安要因は摘み取りたいと。予算委員会は開くべきですし、国会が規則通りに動かない、規則を守らないというのはどうしたものかと思えますし、やはり国権の最高機関である国会を軽視するというのはいけないと思えますね。」

小川キャスター「国会を軽視して、正面から向き合おうとしないほうがかえって政権にとってマイナスイメージになるような気がします」

・「骨太の方針」閣議決定：結論→特に問題なし

今回の報道は、来年度の予算のベースとなるいわゆる「骨太の方針」が本日閣議決定されたことについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 22 秒だった。

なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

・長島昭久氏が自民党入り：結論→特に問題なし

今回の報道は、民主党政権にて防衛副大臣等を務め、現在は無所属で院内会派「未来日本」に所属する長島昭久衆院議員が自民党入党に向けて最終調整を行っていることについての報道であり、このトピックについて当てられた時間は 24 秒だった。

なお、今回は対立点や論点などは特に見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし

検証者所感
特になし